

繊維製品の抗ウイルス性試験を開始！

抗ウイルス性試験室を新設

消費者の細菌やウイルスに関する意識はまだまだ高く、清潔性や安全性など機能性繊維・加工が多く開発されています。

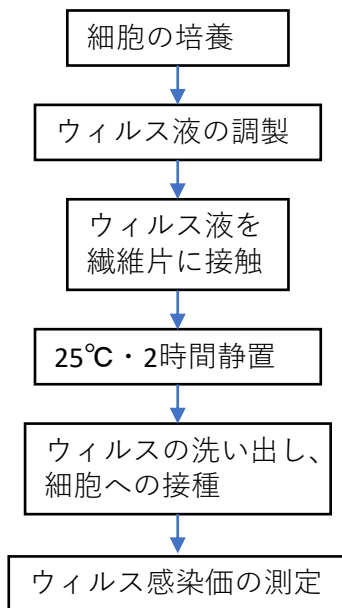
ケケンでは、新たにJIS L 1922 繊維製品の抗ウイルス性試験が実施可能となりました！



JIS L 1922 繊維製品の抗ウイルス性試験方法

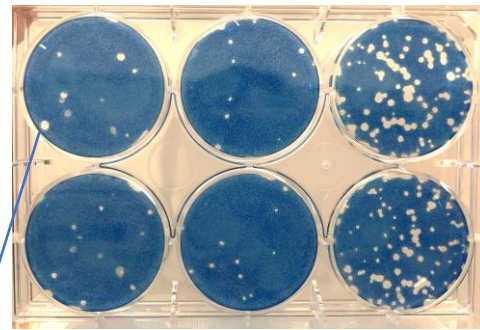
試験片に付着させたウイルスを洗い出し液により回収し、回収した洗い出し液に含まれるウイルスを測定する試験方法です。標準布と試験布の洗い出し液に含まれるウイルスの減少差により性能を評価します。

主な試験の流れ



※プラーク測定法

プラーク測定法の6穴ウェルプレート



プラーク

細胞がウイルスに感染し、青く染色されていない箇所

抗ウイルス活性値の計算

抗ウイルス活性値 $Mv = \log(V_b) - \log(V_c)$

$\log(V_b)$: 標準布の2時間放置後のウイルス感染価の常用対数値の平均値

$\log(V_c)$: 試験布の2時間放置後のウイルス感染価の常用対数値の平均値

ケケン試験認証センターでは上記以外にも様々な機能性試験を実施しております。気軽にお問い合わせ下さい。

ホームページ：<https://www.jwif.org/>

